

「命のビザ」を縁に イスラエル観光団が初来敦



「命のビザ」のレプリカを熱心に
見つめる観光団のメンバー

第2次大戦中に杉原千蔵氏が発給した「命のビザ」を手に持ち、多くのユダヤ人難民が敦賀港に上陸した縁により、11月2日にイスラエル人の観光団が初めて敦賀市を訪れました。

メンバーはイスラエル商工クラブの会員や家族ら27人。「人道の港 敦賀ムゼウム」を見学し、当時の様子を紹介したパネルや「命のビザ」のレプリカなどを熱心に見て回りました。

ムゼウム前で行われた歓迎式典では、観光団代表でイスラエル・日本親善協会会長のアリエ・クッツ氏が「約70年前に難民を受け入れてくれた敦賀市民の方々の温かい心に、本当に感謝しています」とあいさつ。式典後には、市内のグループ「マイム・マイ夢の会」のメンバーと一緒にフォークダンスを踊り、交流を深めました。

住民と行政のパイプ役に 民生委員・児童委員を委嘱

福祉の向上のため地域で活動する「民生委員・児童委員」と「主任児童委員」の委嘱状伝達式が、12月1日にあいあいプラザで行われました。新任・再任合わせ、民生委員・児童委員に133人、主任児童委員に12人が委嘱され、式典では、各地区の代表者に河瀬市長から委嘱状が手渡されました。

委員の任期は3年間で、住民からのさまざまな相談に応じるほか、1人暮らしの高齢者を訪問するなどの活動を行っています。

また、委嘱状伝達式に先立ち、長年活躍された退任委員55人に感謝状が贈られました。



市長から委嘱状を受け取る地区の代表者

不適正な事務処理について(お詫び)

平成22年11月5日に公表された国土交通省所管補助事業に係る事務費の経理状況に対する会計検査院からの指摘について、本市では、人件費、旅費、需用費等の一部が不適正な経理処理とされ、その指摘額の合計は、35,843千円であり、そのうち国庫補助金相当額は、18,250千円でありました。

このような補助金を返還する事例が発生し、市政に対する市民の信頼を損ねる結果を招いたことは、遺憾に存じます。

今回の事態を重く受け止め管理監督者の責任として、現段階において、私と副市長の二人を減給処分といたしました。

また、今回の指摘事項以外にも不適正な経理がなかったか自主調査をすることとし、塚本副市長を委員長とした敦賀市事務処理問題調査委員会を平成22年11月25日に設置いたしました。

外部からは調査検証委員として、上野 進弁護士、田中信幸税理士の2名に参加していただき、調査方法の検証や指導等を仰ぐことといたしました。

この自主調査は、6箇月を目途に結果を取りまとめ、公表いたしますとともに、今後、このような事案を二度と起こさないよう効果的な再発防止策に取組んでまいります。

敦賀市長 河瀬 一治

いよいよ 大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」が始まります

2011年1月から、大河ドラマ『江～姫たちの戦国～』が始まります。敦賀市では「江」敦賀歴史浪漫事業実行委員会を中心に、敦賀と浅井三姉妹およびその他の登場人物とゆかりのある地を核として、さまざまな企画を展開していきます。

そこで今回は、「江～姫たちの戦国～」と敦賀とのかかわりをご紹介します！

豊臣 秀吉 (家臣) **石田 三成** (盟友)

夫婦

織田 信長 (兄妹)

北庄城主 **柴田 勝家** (再婚)

小谷城主 **お市** (夫婦)

浅井 長政 (盟友)

朝倉 義景

大谷 吉継 (敦賀城主)

裏切りが常の戦国の世に、盟友石田三成との堅い友情に殉じた敦賀城主。秀吉政権下で重用され、敦賀城主として12年間、軍事物流の最重要拠点であった敦賀城下の整備拡充を行った。

原作「江～姫たちの戦国～」には、関ヶ原の闘いを前にした石田三成と、敦賀城主大谷吉継の友情の場面も登場します

敦賀市公認キャラクター よっしー

初代小浜藩主 **京極 高次** (夫婦)

お茶々 (長女) 羽柴秀吉(豊臣秀吉)の側室となり、秀頼を産む。大阪夏の陣で徳川方に破れ、秀頼と自害したとされる。

お江 (三女) 物語の主人公。お市の再婚により越前国北庄城で姉らとともに幼少の一時期を過ごした。

お初 (次女) 京極高次の正室として京極家に入り、高次に先立たれたあと常高院と名乗る。墓所は小浜市の常高寺にある。

ゆかりのある地

金ヶ崎城跡・金崎宮

金崎宮がある場所に、かつて金ヶ崎城がありました。

1570年、朝倉義景討伐のため越前に攻め入った織田信長は、金ヶ崎城を落城。そのまま北に攻め入ろうとしたが、「江」の父親でお市を妻に持つ浅井長政に裏切られ、京都に逃げます。

お市は、浅井・朝倉両軍に挟まれたことを信長に知らせるため、両端を紐で結んだ袋に小豆を1粒入れ、陣中に届けたとされています。その逸話にあやかり、金崎宮には中に1粒の小豆が入ったお守りがあります。

玄蕃尾城跡

お市の2回目の結婚相手であり三姉妹の義父である柴田勝家が、1583年の「賤ヶ岳の戦い」の際、本陣を置いたといわれています。戦いに破れた勝家は北庄城で滅ぼされ、お市は三姉妹だけを逃し、勝家とともに亡くなりました。